



E3.S インストールおよびサービス ガイド向け Cisco UCS X10c パススルー コントローラ

最終更新：2025 年 11 月 12 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>



目次

第 1 章

概要 1

概要 1

前面メザニン E3.S モジュール 1

ドライブ ベイ 2

ドライブとドライブ LED 2

第 2 章

フロント メザニン モジュールの取り付け 5

フロント メザニンをインストールと取り外し 5

必要な工具 5

コンピューティングノードカバーの取り外し 6

コンピューティングノードカバーの取り付け 7

フロント メザニン モジュールの取り外し 7

フロント メザニン モジュールの取り付け 10

フロント メザニン モジュールの構成 12

第 3 章

フロント メザニン モジュールの整備 13

フロント メザニンモジュールの整備 13

ドライブの交換 13

E3.S PCIe の要件と制限事項 13

ホットプラグに関する考慮事項 14

ドライブの取り外し 14

ドライブの取り付け 15

ドライブ ブランク フィラーの取り外し 16

ドライブ ブランクの取り付けフィラー 17

第 4 章	フロント メザニン モジュールのリサイクル	19
	フロント メザニン リサイクルの概要	19
	コンポーネント PCB アセンブリのリサイクル	19
	フロント メザニン モジュール PCBA のリサイクル	20

付 録 A :	技術仕様	23
	E3.S ドライブの仕様	23
	前面メザニン モジュールの仕様	24



はじめに

この章は次のトピックで構成されています。

- [バイアスのないドキュメント](#) (v ページ)
- [Full Cisco Trademarks with Hardware License, on page v](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報](#) (vii ページ)

バイアスのないドキュメント



(注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Full Cisco Trademarks with Hardware License

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によって求めるビジネス成果を得るには、[Cisco Services](#) [英語] にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。



第 1 章

概要

この章は次のトピックで構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前面メザニン E3.S モジュール \(1 ページ\)](#)

概要

Cisco UCS X10c E3.S ドライブのパススルーコントローラは、Cisco UCS X シリーズ コンピューティング ノード用のパッシブ PCIe Gen 4 フロント メザニン オプションです。

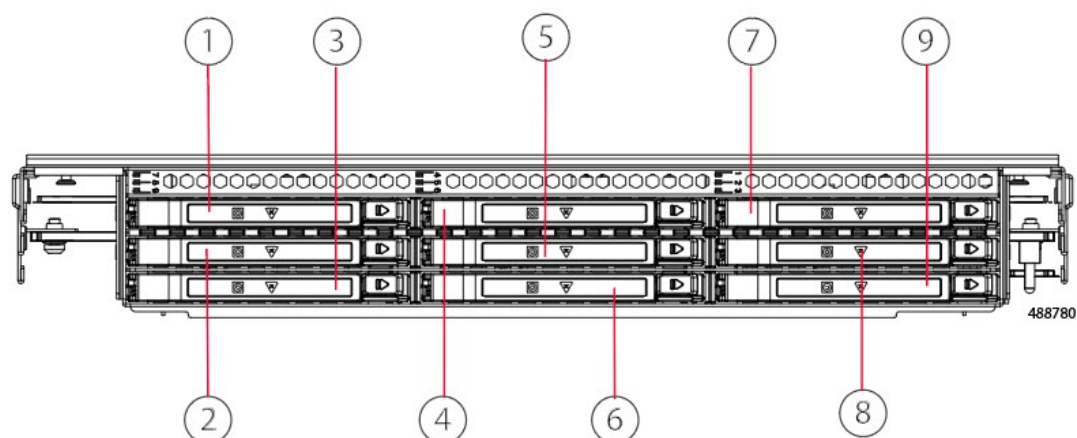
各 Cisco UCS X10c フロント メザニン ドライブ モジュールは、次のコンポーネントで構成されています：

- 9 台の E3.S 1T PCIe5 ドライブ。

前面メザニン E3.S モジュール

フロント メザニン E3.S モジュールは最大 9 台の E3.S PCIe ドライブをサポートします。

次の図は、ドライブの位置を示しています。



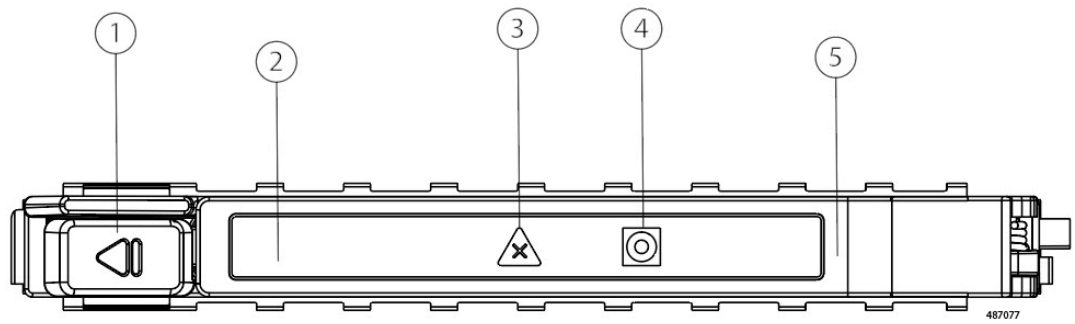
1	E3.S ドライブ スロット 1
2	E3.S ドライブ スロット 2
3	E3.S ドライブ スロット 3
4	E3.S ドライブ スロット 4
5	E3.S ドライブ スロット 5
6	E3.S ドライブ スロット 6
7	E3.S ドライブ スロット 7
8	E3.S ドライブ スロット 8
9	E3.S ドライブ スロット 9

ドライブベイ

各前面メザニン ES.3 モジュールには、最大 9 台の 7.5mm E3.S 1TB PCIe5 ドライブをサポートできる前面メザニンがあります。ドライブブランクパネル（UCSC-E3S1T-F）で、すべての空のドライブベイを覆う必要があります。

ドライブとドライブ LED

各 E3.S ドライブは、フロントメザニンモジュールのストレージケージに出し入れするフロントローディングドライブです。



1	イジェクトボ タン	2	E3.S ドライブ
3	ドライブステータス LED	4	ドライブ アクティビティ LED
5	E3.S ドライブ キャリア		

各 E3.S ドライブには、ドライブの状態とアクティビティを示す LED もあります。

表 1: ドライブ LED、NVMe (VMD 対応)

緑のアクティビティ/プレゼンス LED 	オレンジ青色ステータス/障害 LED 	説明
消灯	消灯	ドライブが存在しないか、ドライブの電源がオフになっています
オン	オフ	ドライブはありますが、アクティビティはありません
4HZ	オフ	ドライブがあり、ドライブ アクティビティ
オン	青色、4HZ	Drive Locate インジケータまたは物理的な取り外しの準備ができていますドライブ
オン	オレンジで点灯	故障または故障する可能性があるドライブ
オン	オレンジ、1Hz	ドライブの再構築



第 2 章

フロント メザニン モジュールの取り付け

この章は次のトピックで構成されています。

- [フロント メザニンをインストールと取り外し](#) (5 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの構成](#) (12 ページ)

フロント メザニンをインストールと取り外し

フロント メザニン モジュールは、Cisco UCS X シリーズ コンピューティング ノードのフロント メザニン スロットに取り付けます。その場合は、次のトピックを参照してください：

- [必要な工具](#) (5 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り付け](#) (10 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り外し](#) (7 ページ)

必要な工具

Cisco UCS XE3.S フロント メザニン モジュールを取り付けるために必要な特別なキットはありません。ただし、次の項目がインストール中にあることを確認してください：

- フロント メザニンには以下が含まれます：
 - 最大 9 台の E3.S ドライブをサポートするドライブ ケージ。
 - フィラー ブランク。



(注) 1 つの E3.S ドライブを Cisco UCS X10c フロント メザニン E3.S モジュールで注文すると未使用の E3.S スロットは、フィラー ブランクで事前入力されています。追加のフィラー ブランクはCisco (UCSC-E3S1T-F) から購入できます。

E3.S モジュールの取り付けまたは取り外しには、Cisco が提供していない次の追加機器が必要です。

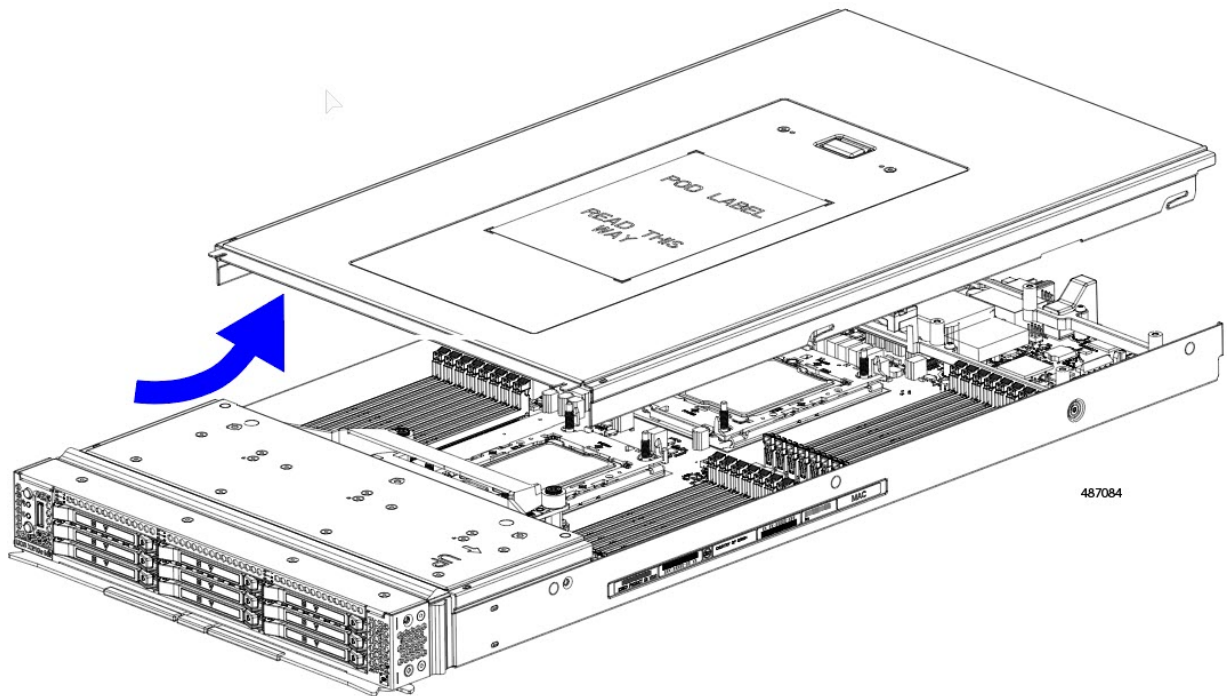
- T8 トルクスドライバ
- #2 プラス ドライバ
- トルク ドライバ

コンピューティングノードカバーの取り外し

コンピューティング ノードのカバーを取り外すには、次のステップに従います。

手順

ステップ 1 次の図に示すようにボタンを押し続けます。



ステップ 2 カバーの後ろの端をつかんでカバーを後方に引き、コンピューティング ノードから上部カバーを引き上げます。

カバーを後方にスライドさせると、前面メザニンモジュールの背面にある金属製の縁が前面エッジから外れるようになります。

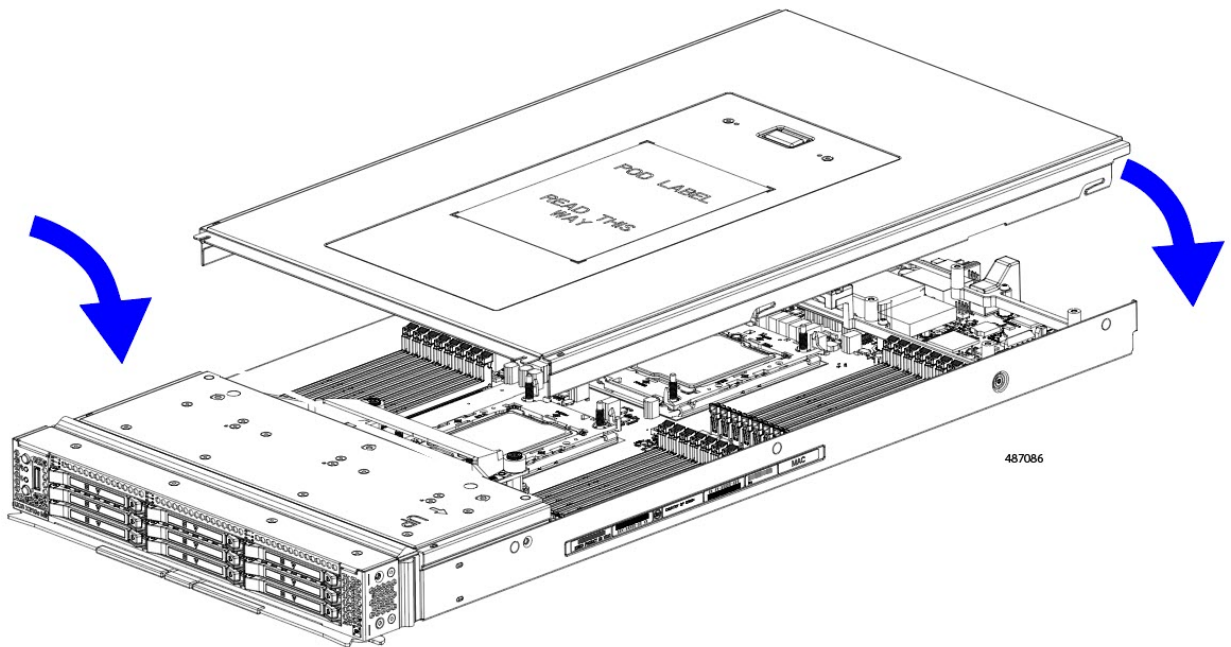
コンピューティングノードカバーの取り付け

コンピューティング ノードの取り外した上部カバーを取り付けるには、次の作業を実行します。

手順

ステップ1 トップカバー後部の切り欠きに注目してください。

これらの切り欠きは、コンピューティング ノードのストッパー ピンを受けます。



ステップ2 背面を下に傾けた状態で上部カバーを持ち、コンピューティング ノードの上を下ろします。

ステップ3 コンピューティング ノードのカバーをストッパー ピンに当たるまでスライドさせます。

ステップ4 上部カバーの前面をコンピューティング ノードに下ろします。

ステップ5 コンピューティングノードのカバーを平らにしたまま、リリースボタンがカチッと音がするまで前方にスライドさせます。

フロント メザニン モジュールの取り外し

既存のフロント メザニン モジュールを取り外すには、コンピューティング ノードの板金トレイの側面とノードのマザーボードにあるネジを外します。



注意 フロントメザニンモジュールが取り付けられていない状態でコンピューティングノードを動作させないでください。

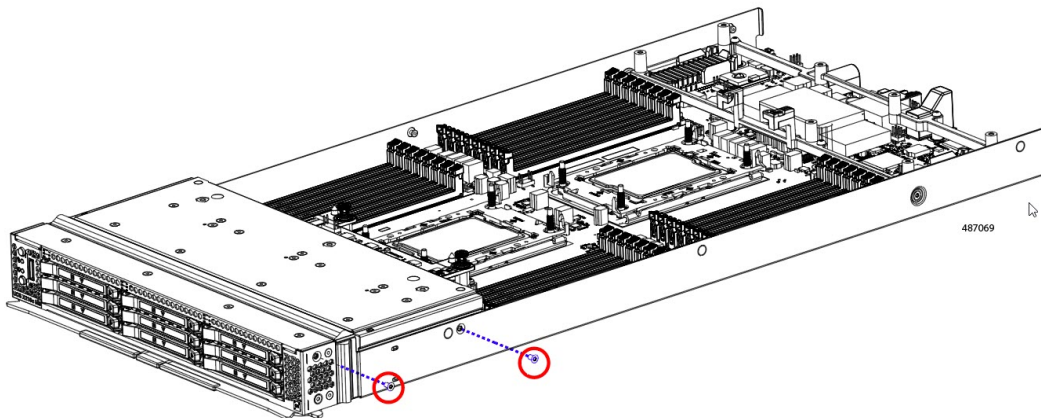
フロントメザニンモジュールを取り外すには、次の手順を実行します。

始める前に

このタスクを実行するには、コンピューティングノードはシャーシから取り外す必要があります。

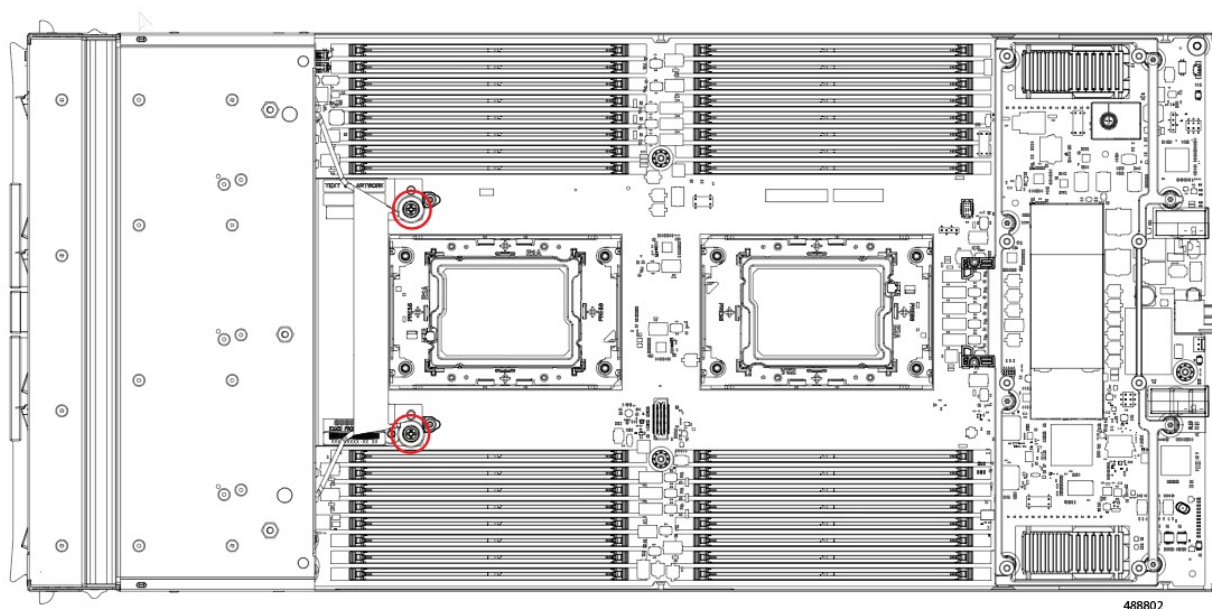
手順

ステップ1 コンピューティングノードの上部カバーを外します。「[コンピューティングノードカバーの取り外し（6ページ）](#)」を参照してください。

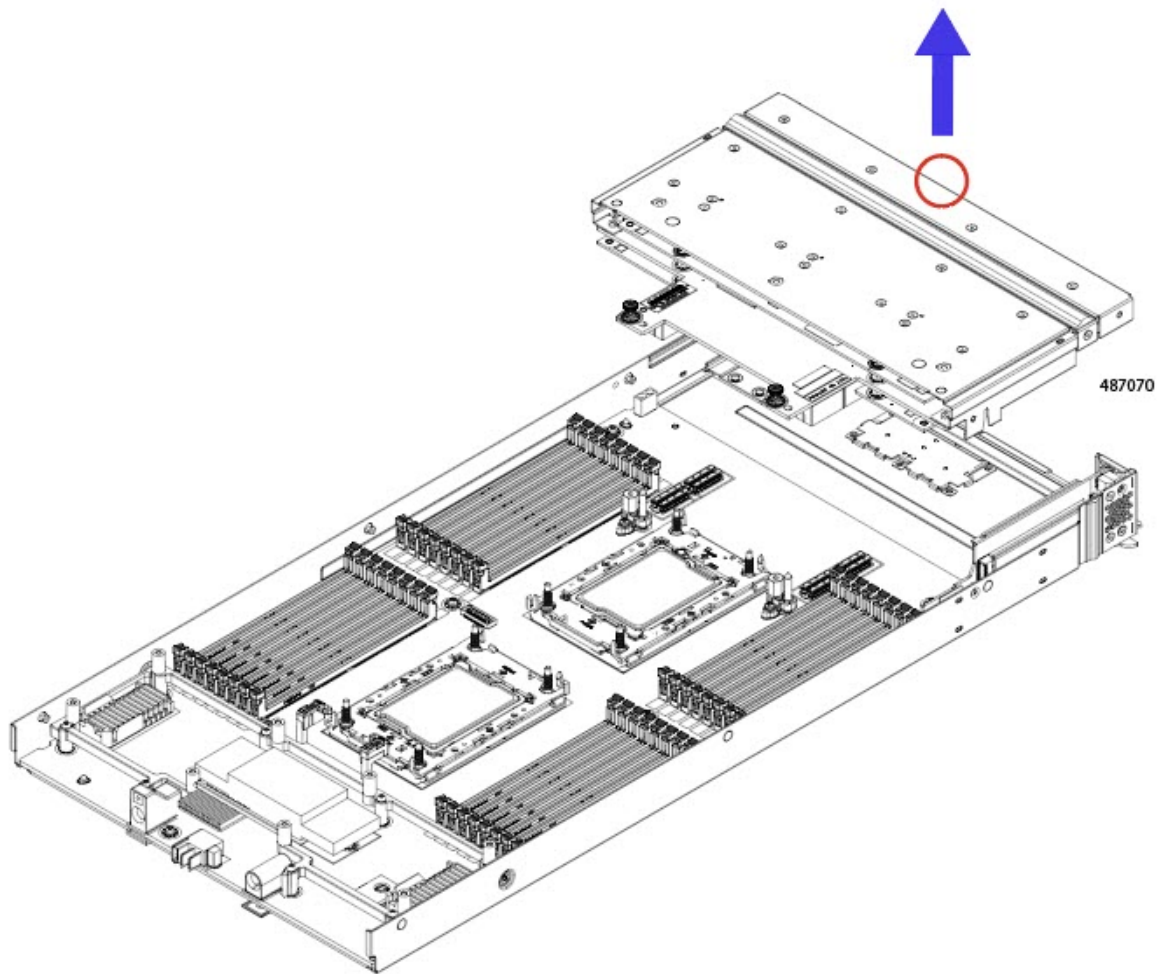


ステップ2 ネジを取り外します。

- a) T8 トルクス ドライバを使用して、4 本の T8 フラット ヘッド ネジを各側面に 2 本ずつ取り外します。
- b) #2 プラスドライバを使用して、フロントメザニンモジュールの背面にある 2 つの非脱落型ネジを緩めます。



ステップ3 前面上部の中央でフロント メザニン モジュールをつかみ、フロント メザニン モジュールをまっすぐ上に持ち上げて、コンピューティング ノードから取り外します。



次のタスク

フロントメザニンE3.Sドライブモジュールをコンピューティングノードに固定します。「[フロントメザニンモジュールの取り付け（10ページ）](#)」を参照してください。

フロントメザニンモジュールの取り付け

フロントメザニンモジュールを取り付けるには、コンピューティングノードの板金トレイの側面とノードのマザーボードにネジを挿入します。

フロントメザニンモジュールを取り付けるには、次の手順を使用します。

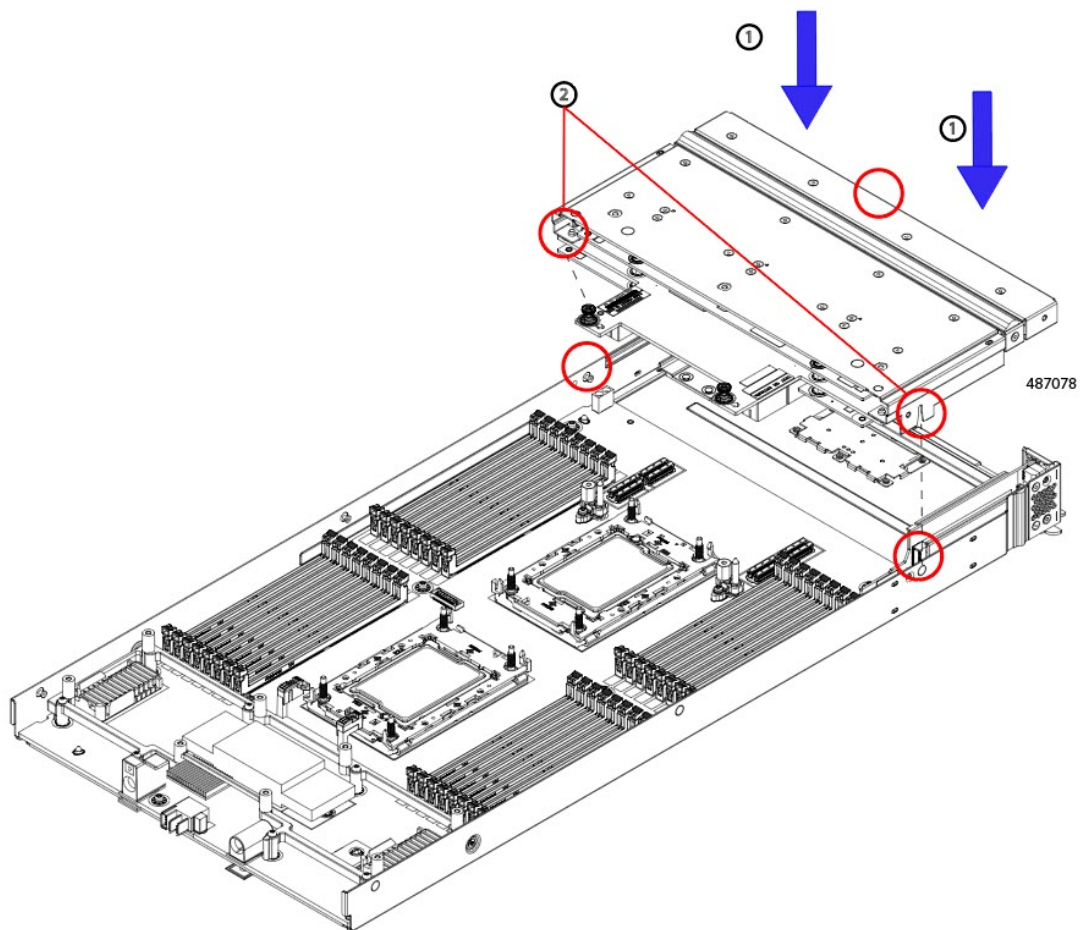
手順

ステップ1 フロントメザニンモジュールの上端の中央を持ち、モジュールを水平に保ち、コンピューティングノードの上に下ろします(1)。

ステップ2 背面の脱落型ネジをネジ式スタンドオフ(2)に合わせます。

(注)

フロントメザニンとコンピューティングノードの側面には、コンピューティングノードへのモジュールの取り付けを支援するガイドピンがあります。モジュールを取り付ける際は、これらのガイドピンを使用します。



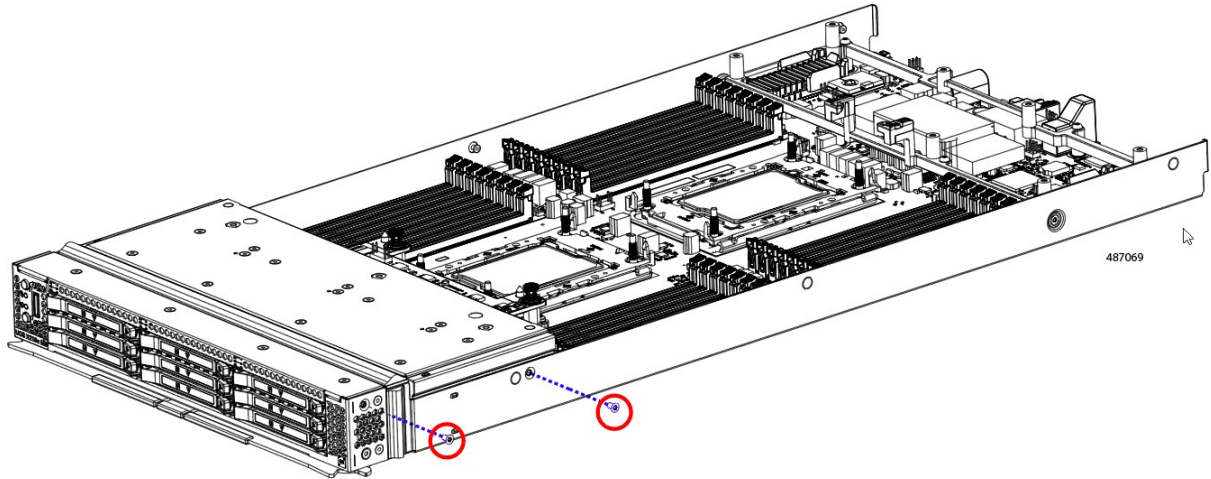
ステップ3 モジュールを均等に押し下げて、モジュールのコネクタをフロントメザニンとコンピューティングノードの側面のソケットに固定します。

ステップ4 プラスドライバとトルクスドライバを使用して、2つの背面の非脱落型ネジを 5 in-lb のトルクで締めます。

警告

背面の非脱落型ネジを締めすぎないようにしてください。

ステップ 5 T8 トルクス ドライバを使用して、コンピューティング ノードの側面にある 4 本の T8 平頭ネジ（側面ごとに 2 本のネジ）を締めて、モジュールをコンピューティング ノードに固定します。



ステップ 6 コンピューティング ノードの上部カバーを元に戻し、コンピューティング ノードをシャーシに再取り付けします。

「[コンピューティングノードカバーの取り付け（7 ページ）](#)」を参照してください。

フロントメザニンモジュールの構成

Cisco UCS X10c フロントメザニンモジュールは、Intersight 管理モード（Cisco Intersight 管理モード）の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して構成し、管理できます。詳細については、*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide* を参照してください。次の URL：
[Cisco Intersight 管理対象モード構成ガイド](#)にあります。



第 3 章

フロント メザニン モジュールの整備

この章は次のトピックで構成されています。

- [フロント メザニンモジュールの整備 \(13 ページ\)](#)

フロント メザニンモジュールの整備

前面メザニンには、E3.S PCIe ドライブと現場交換可能なコンポーネントが含まれています。

これらのコンポーネントを保守するには、次のトピックを参照してください。

- [ドライブの交換 \(13 ページ\)](#)
- [ドライブの取り付け \(15 ページ\)](#)

ドライブの交換

前面メザニン E3.S モジュールは最大 9 台の E3.S ドライブをサポートします。各ドライブは、モジュールの前面のフロント ローディングです。

E3.S ドライブを交換するには、次のタスクを使用します。

- [ドライブの取り外し \(14 ページ\)](#)
- [ドライブの取り付け \(15 ページ\)](#)

E3.S PCIe の要件と制限事項

7.5 mm E3.S PCIe SSD ドライブの場合、次の点に注意してください：

- UEFI ブートモードは、Cisco Intersight Managed モード (IMM) でサポートされているサーバー ポリシーのブート順序ポリシー設定を使用して構成できます。Cisco IMM を介して UEFI ブートモードを設定する手順については、次の URL にアクセスしてください。

[Cisco Intersight 管理モード コンフィギュレーション ガイド](#)

- PCIe SSD は PCIe バス経由でコンピューティング ノードとやり取りするため、SAS RAID コントローラを使用して PCIe SSD を制御することはできません。
- UEFI ブートは、サポートされているすべてのオペレーティング システムでサポートされます。

ホットプラグに関する考慮事項

ホットプラグのサポートの有効化

サブライズおよび OS 通知のホットプラグは、次の条件でサポートされます。

- ホットプラグをサポートするには、VMD を有効にする必要があります。ドライブに OS をインストールする前に、VMD を有効にする必要があります。
- VMD が有効になっていない場合、サブライズ ホットプラグはサポートされないため、代わりに OS 通知のホットプラグを実行する必要があります。
- VMD は、サブライズ ホットプラグとドライブ LED の両方のサポートに必要です。

ドライブの取り外し

このタスクを使用して、フロントメザニン ドライブ モジュールから E3.S PCIe ドライブを取り外します。



注意 空のドライブベイでシステムを動作させないでください。ドライブを取り外す場合は、ドライブを再挿入するか、空のドライブベイをドライブブランクでカバーする必要があります。

手順

ステップ 1 イジェクタ ボタンを押してイジェクタ アームを開き、イジェクタ アームを開いてドライブをスロットから引き出します。

注意

データの損失を防ぐため、ドライブを取り外す前にシステムの状態を確認してください。

ステップ 2 取り外したドライブをすぐに別のコンピューティング ノードに取り付けない場合は、静電気防止用マットまたは静電気防止用フォームの上にドライブを置きます。

ステップ 3 ドライブ ブランキング パネルを取り付けて、適切なエアフローを保ち、ドライブ ベイが空のままになる場合はドライブ ベイにほこりが入らないようにします。

次のタスク

空になったドライブベイをカバーします。適切なオプションを選択してください。

- [ドライブの取り付け \(15 ページ\)](#)
- [ドライブ ブランクの取り付けフィラー \(17 ページ\)](#)

ドライブの取り付け



注意 ドライブのホットインストールでは、元のドライブを取り外した後、20 秒待ってからドライブをインストールする必要があります。この 20 秒間の待機時間を許可しないと、管理ソフトウェアに誤ったドライブインベントリ情報が表示されます。誤ったドライブ情報が表示される場合は、影響を受けるドライブを取り外し、20 秒待ってから再インストールします。

E3.S PCIe ドライブを取り付けるには、次の手順に従います：

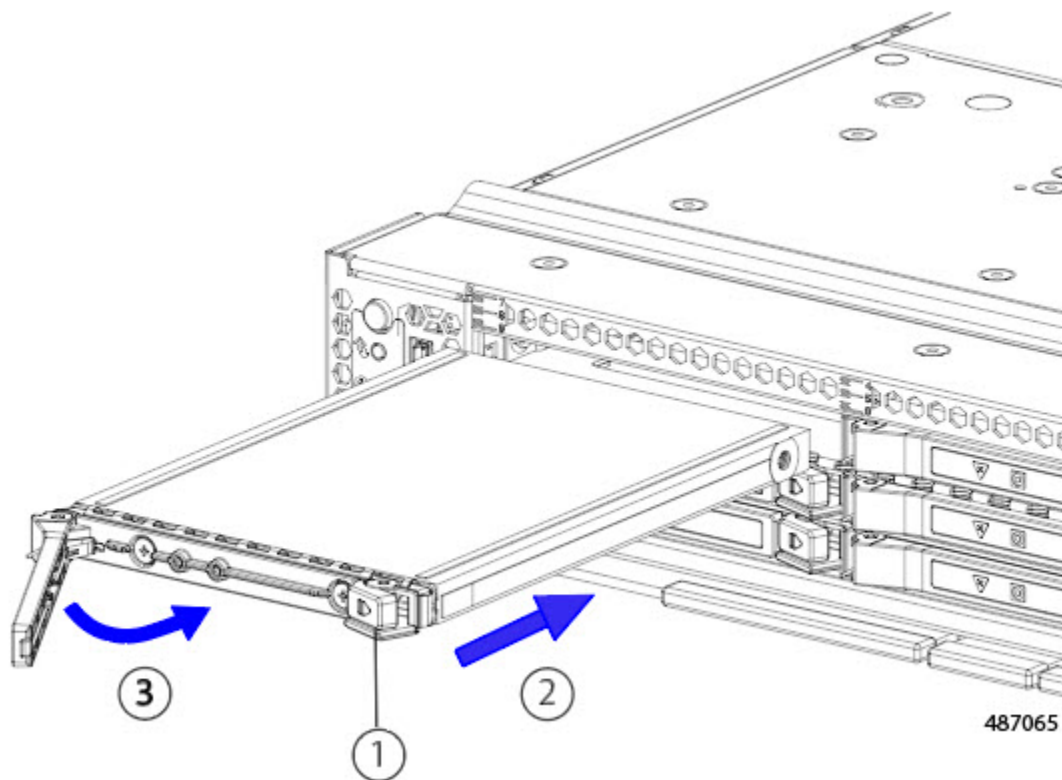
手順

ステップ 1 イジェクタ ボタンを押してドライブ イジェクタ アームを開きます。

ステップ 2 ドライブの中央に指を置き、空のドライブ ベイにドライブを差し込んでゆっくりと押し込み装着します。

ステップ 3 ドライブ イジェクタ アームを押して閉じます。

イジェクタ アームが閉じた位置に収まると、カチッという音がします。



ドライブブランク フィラーの取り外し

最大の9つのE3.Sドライブがフロントメザニンストレージモジュールに含まれています。フロントメザニンモジュールのE3.Sドライブが9台未満の場合は、空のドライブベイにドライブブランクフィラーを取り付ける必要があります。すべてのドライブスロットに、ドライブまたはドライブブランクフィラーが含まれている必要があります。

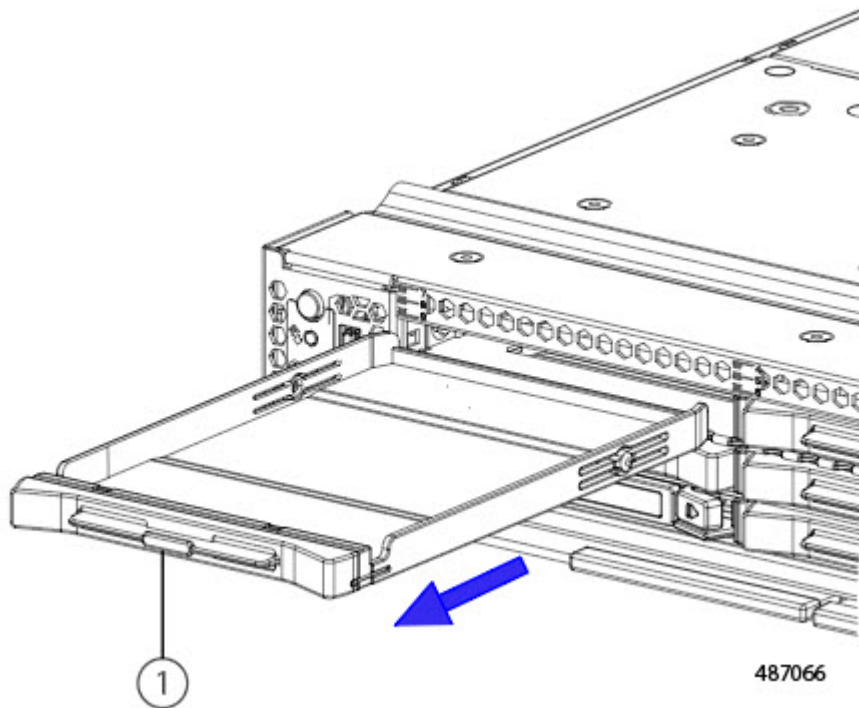


(注) ドライブブランクフィラーのない空のドライブベイがあるフロントメザニンE3.Sモジュールを操作しないでください。

ドライブブランクフィラーを取り外すには、次の手順を実行します。

手順

ドライブブランクフィラーの前端をつかんで、ドライブブランクフィラーをスロットから引き出します。



次のタスク

空になったドライブベイをカバーします。適切なオプションを選択してください。

- [ドライブの取り付け \(15 ページ\)](#)
- [ドライブ ブランクの取り付けフィラー \(17 ページ\)](#)

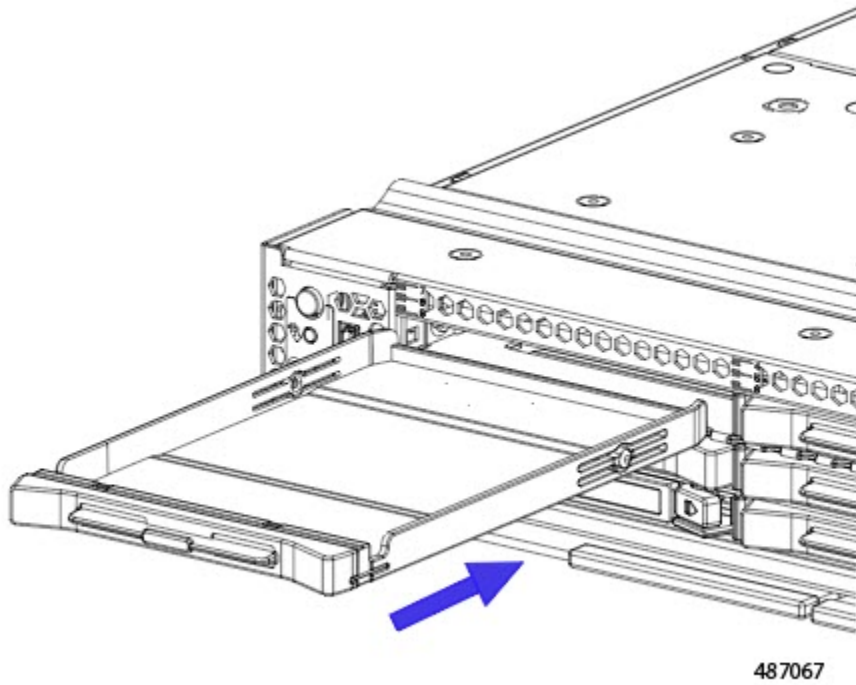
ドライブ ブランクの取り付けフィラー

ドライブブランクを取り付けるには、次の作業を実行します。

手順

ステップ 1 プラスチックの下面が下になるようにドライブ ブランク フィラーを合わせます。

ステップ 2 ドライブ ブランク フィラー レベルを持ち、空のスロットにスライドさせます。





第 4 章

フロント メザニン モジュールのリサイクル

この章は次のトピックで構成されています。

- [フロント メザニン リサイクルの概要 \(19 ページ\)](#)
- [コンポーネント PCB アセンブリのリサイクル \(19 ページ\)](#)

フロント メザニン リサイクルの概要

この章では、リサイクルと電子廃棄物のために主要なモジュールコンポーネントを分解する手順について説明します。Cisco UCS ハードウェアをリサイクルする場合は、地域の電子廃棄物およびリサイクルの規制に必ず従ってください。



- (注) **リサイクル業者のみ。**この章の手順は、標準のフィールド サービス オプションではありません。これらの手順は、地域のエコデザインおよびe廃棄物規制に準拠するために、適切な廃棄のための電子機器を再利用するリサイクル業者向けです。

モジュールのコンポーネント パーツを分解するには、次のトピックを参照してください：

- [フロント メザニン モジュール PCBA のリサイクル \(20 ページ\)](#)

コンポーネント PCB アセンブリのリサイクル

メイン マザーボード PCBA に加えて、いくつかの主要コンポーネントには、リサイクルが必要な PCBA も含まれています。リサイクルと電子廃棄物を管理する地域の規制を常に遵守してください。

適切なコンポーネントをリサイクルするには、次の手順を使用します。

- [フロント メザニン モジュール PCBA のリサイクル \(20 ページ\)](#)

フロントメザニンモジュール PCBA のリサイクル

フロントメザニンモジュールには、水平に配置され、ドライブバックプレーンをメインマザーボードに接続する 3 つの PCBA が 1 つ含まれています。PCBA は、5 本の T10 ネジでフロントメザニンモジュールの板金に取り付けられています。

PCBA をリサイクルする前に、板金から PCBA を取り外す必要があります。

始める前に



(注) **リサイクル業者のみ。**この手順は、標準のフィールドサービスオプションではありません。この手順は適切な処分のための電子機器を要求するリサイクル業者ためのものであり、エコデザインと e 廃棄物規制に準拠しています。

プリント基板アセンブリ (PCBA) を取り外すには、次の要件を満たしている必要があります。

- コンピューティング ノードはシャーシから取り外す必要があります。
- コンピューティングノードの上部カバーを取り外す必要があります。

次のツールを収集します。

- T10 ドライバ
- 六角ナット ドライバ

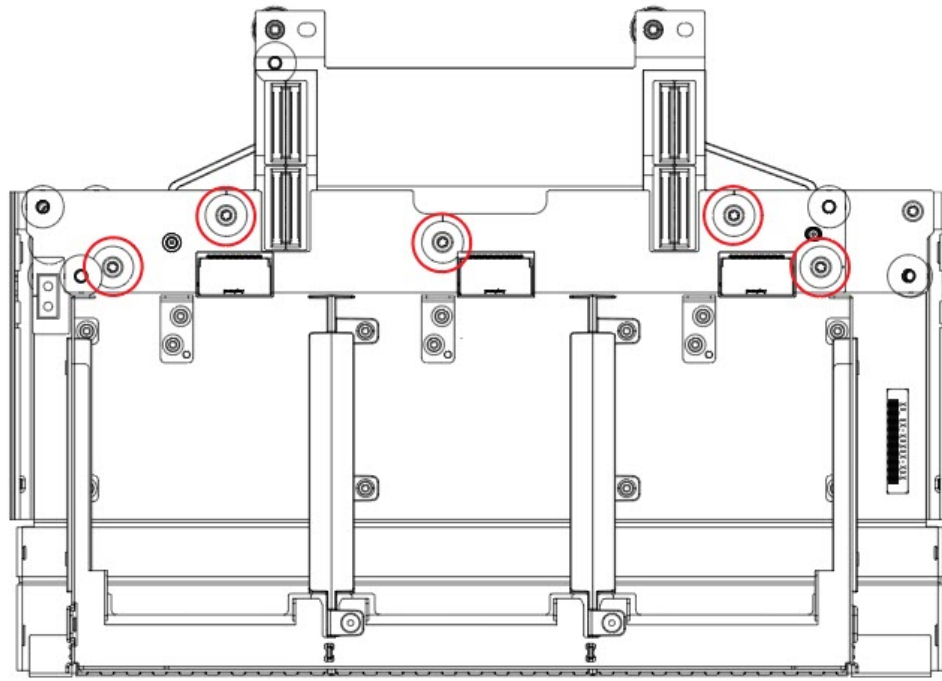
手順

ステップ 1 フロントメザニンモジュールをコンピューティングノードから取り外します。

- a) [フロントメザニンモジュールの取り外し \(7 ページ\)](#) に進みます。
- b) フロントメザニンモジュールを逆さまにして、ゴム引きマットまたはその他の ESD 保護された作業面に置きます。

ステップ 2 下部の PCBA を取り外します。

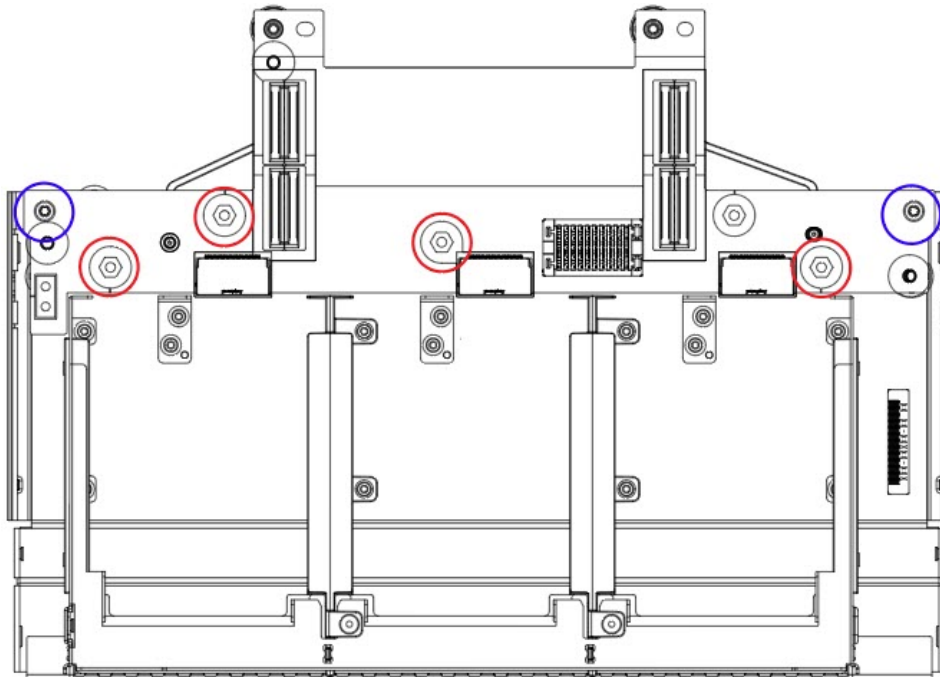
- a) T10 ドライバを使用して、PCBA の下部の 5 本の M3 ネジを取り外します。



488799

ステップ3 中央の PCBA を取り外します。

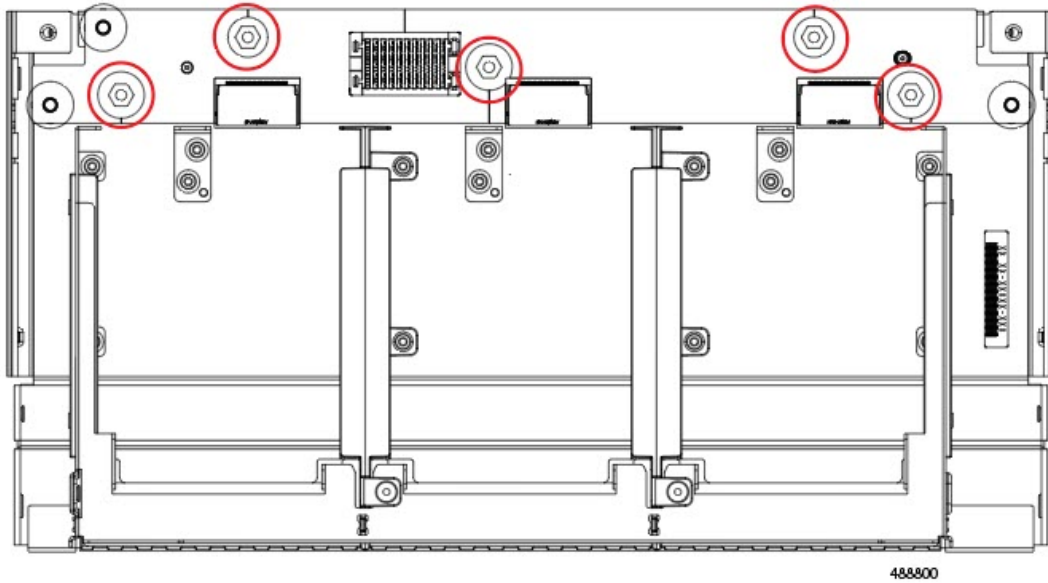
- a) T10 トルクス ドライバを使用して、2 つの M3 ネジを取り外します。。
- b) 六角ナットドライバを使用して、5 本の 6mm 六角絶縁ポストを取り外します。



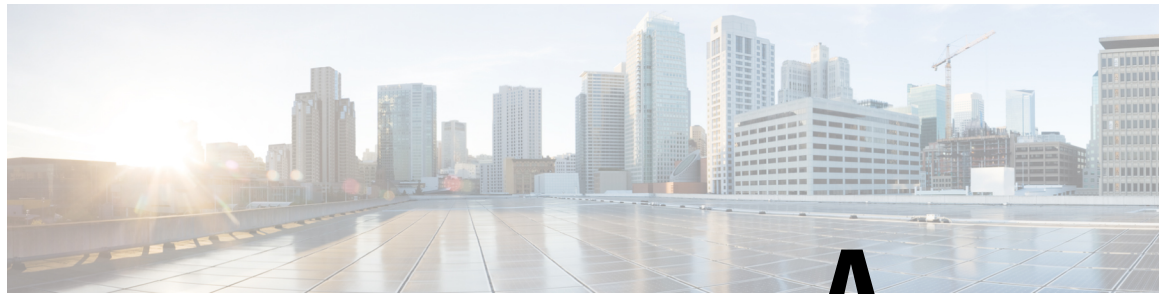
488801

ステップ4 上部の PCBA を取り外します。

- a) 六角ナットドライバを使用して、上部の PCBA から 5 本の 6mm 六角絶縁ポストを取り外します。



ステップ5 PCBA は、地域のリサイクルおよび e廃棄物に関する法律に従って適切に処分してください。



付録 A

技術仕様

この章は次のトピックで構成されています。

- [E3.S ドライブの仕様 \(23 ページ\)](#)
- [前面メザニン モジュールの仕様 \(24 ページ\)](#)

E3.S ドライブの仕様

物理仕様

仕様	値
高さ	76 mm (2.99 インチ)
幅	7.5 mm (0.295 インチ)
奥行き	125.5 mm (4.94 インチ)
重量	重量は、装着されているコンポーネントによって異なります。 • ドライブ重量 : 0.12 kg (0.26 ポンド)

環境仕様

Cisco UCS X10c フロント メザニン E3.S モジュールは、サポートされているコンピューティング ノードにインストールします。したがって、E3.S モジュール自体は、E3.S モジュールをホストしているコンピューティング ノードから環境および電力仕様を継承します。

前面メザニン モジュールの仕様

物理仕様

仕様	値
高さ	44.70 mm (1.76 インチ)
幅	286.51 mm (11.28 インチ)
奥行	205.99 mm (8.11 インチ)
重量	重量は、装着されているコンポーネントによって異なります。 • 最小構成のコンピューティングノードの重量 : 0.89 kg (1.96 ポンド) • 完全に設定されたコンピューティングノードの重量 : 1.75 kg (3.86 ポンド)



索引

L

LED [3](#)

ドライブ アクティビティ [3](#)

ドライブの健全性 [3](#)

こ

コンピューティングノードカバー、取り付け [7](#)

コンピューティングノードカバー、取り外し [6](#)

コンピューティングノードカバーの取り付け [7](#)

コンピューティングノードカバーの取り外し [6](#)

と

ドライブ、取り付け [15](#)

ドライブ、取り外し [14, 16](#)

ドライブの取り付け [15](#)

ドライブの取り外し [14, 16](#)

ドライブブランク、取り付け [17](#)

取り付け、ドライブブランク [17](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。